2

元皇后の長女内親王殿下が記者会見の中央ジャカルタのブルマンホテルで日系製造業や進出者向けにPRイベントを開催した=大田敏英撮

6

国際報道の為の達人情報を出回り、126人が集まる様子であった。写真は原稿を広げきれていた店のチラット=国際広式アイッター

2 西中部の各地経済
3 ソフトバンク、7兆円上場
4 スルカ島が国境宣言を発表
5 今少年・美木場
6 韓経済フェアラーぼるATP
7 みなみ千夕
8 じゃらんじゃらん
9 観覧車のゴンドラが逆さに

2018年（平成30年）
11月13日
火曜日
3655号
発行場 | http://www.jakartashimbun.com | The Daily Jakarta Shimbun | JakartaShimbun

災害速報 SNSで発信

国家防災庁 ストホ広報官 偽情報対策、スピード勝負

インタビューに応じるストホ広報官＝BNPB本部庁で12日

ロンボク島震災の被災ラウェン県震・津波などの大災害が相次ぐ、災害対策の最前線に立つ国家防災庁（BNPB）で、SNSを駆使して、迅速な情報発信に取り組んでいる報道官がいる。ストホ・ブルウォ・メグロさん（49）。ロンボク震災の際には、偽情報の拡散に対応するため、ツイッターやフェイスブックなどで、災害情報を発信。「災害速報官」と呼ばれるようになった。ストホさんに、災害対策の最前線に立つ心構えなどを聞いた。（ジャカルタ＝大田敏英撮影）

ストホさんは、2004年のスマトラ沖大地震・津波の際、災害対策に関心を持ち、BNPBのワークショップなどに参加。災害対策の専門家として、BNPBの広報官に抜てきされた。

科学技術を活用した災害対策を進めるため、BNPBは2016年、科学技術応用庁（BPPT）と共同で、災害対策技術開発計画を策定。ストホさんは、BPPTの担当者と共に、災害対策に関する技術開発の必要性を訴えてきた。

ストホさんは、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを、災害対策に活用するため、2012年に、BNPBの広報官に就任。当時、SNSを使う広報官は、ほとんどいなかったという